

# 向上を手を使い 軽快さめらる

紙面の拡大表示は、最大で400%になった。美しく拡大される。縦横自動別縮縮に加え、200%、400%表示にも一発で切り替えが可能。指定ファンは、通常のドロップダウンのほか、クリックで次々と切り替わる回転式。右クリックで逆回転する。

縦横自動別縮縮では、ウインドウ自体のサイズを変更すれば縮比率も同時

## 最大400%美しく拡大

紙面の拡大表示は、最大で400%になった。美しく拡大される。縦横自動別縮縮に加え、200%、400%表示にも一発で切り替えが可能。指定ファンは、通常のドロップダウンのほか、クリックで次々と切り替わる回転式。右クリックで逆回転する。

縦横自動別縮縮では、ウインドウ自体のサイズを変更すれば縮比率も同時

## シンプル路線 新UI

右クリックで次々と切り替えられる。「A7」のエクステンションのファイル類の配置や名称をほぼ共通化。またユーザへの通知や問い合わせはVISTA以降の新タイプロゴを採用。より分かりやすく丁寧になった。紙面全体に原稿用紙風の升目を表示。全体のイメージがつかみやすくなった。升目は画面右側のボタンでオンオフが可能。

右クリックで次々と切り替えられる。「A7」のエクステンションのファイル類の配置や名称をほぼ共通化。またユーザへの通知や問い合わせはVISTA以降の新タイプロゴを採用。より分かりやすく丁寧になった。紙面全体に原稿用紙風の升目を表示。全体のイメージがつかみやすくなった。升目は画面右側のボタンでオンオフが可能。

## 「倍」基本 U・ミルスも

1000分の88、Uはその8分の1。つまり1倍=8Uとなる。ミルスは1000分の1。ただしソフト上では「倍」は紙面の記事サイズとの比率を指す単位として使う。

見出し作成では、主・脇の基本的な日本見出しから、一本見出し、頭あきり三本見出しなど一通りのパターンを事前準備。各見出しの文字組や大きさも標準的な指定済み。あとは文字数を合わせて打ち込むだけで新聞らしい体裁の見出しが完成する。もちろん、いったんパターンを選んで後でも、見出しの削除や追加、文字大きさの変更も可能だ。

## 見出しパターン用意

見出し作成では、主・脇の基本的な日本見出しから、一本見出し、頭あきり三本見出しなど一通りのパターンを事前準備。各見出しの文字組や大きさも標準的な指定済み。あとは文字数を合わせて打ち込むだけで新聞らしい体裁の見出しが完成する。もちろん、いったんパターンを選んで後でも、見出しの削除や追加、文字大きさの変更も可能だ。

## 何度でも「やり直し」

### リンドウ 主要画面で実装

「アンドウ・リンドウ」直進化した。前の操作を取り消す「アンドウ」その「アンドウ」を元に戻す「リンドウ」機能。メインの「アウト」画面は、メインの「アウト」画面を元に戻す。他の主要画面でも実装した。メイン画面の「アンドウ」のみだった旧版から大きく「リンドウ」を繰り返すことができる。

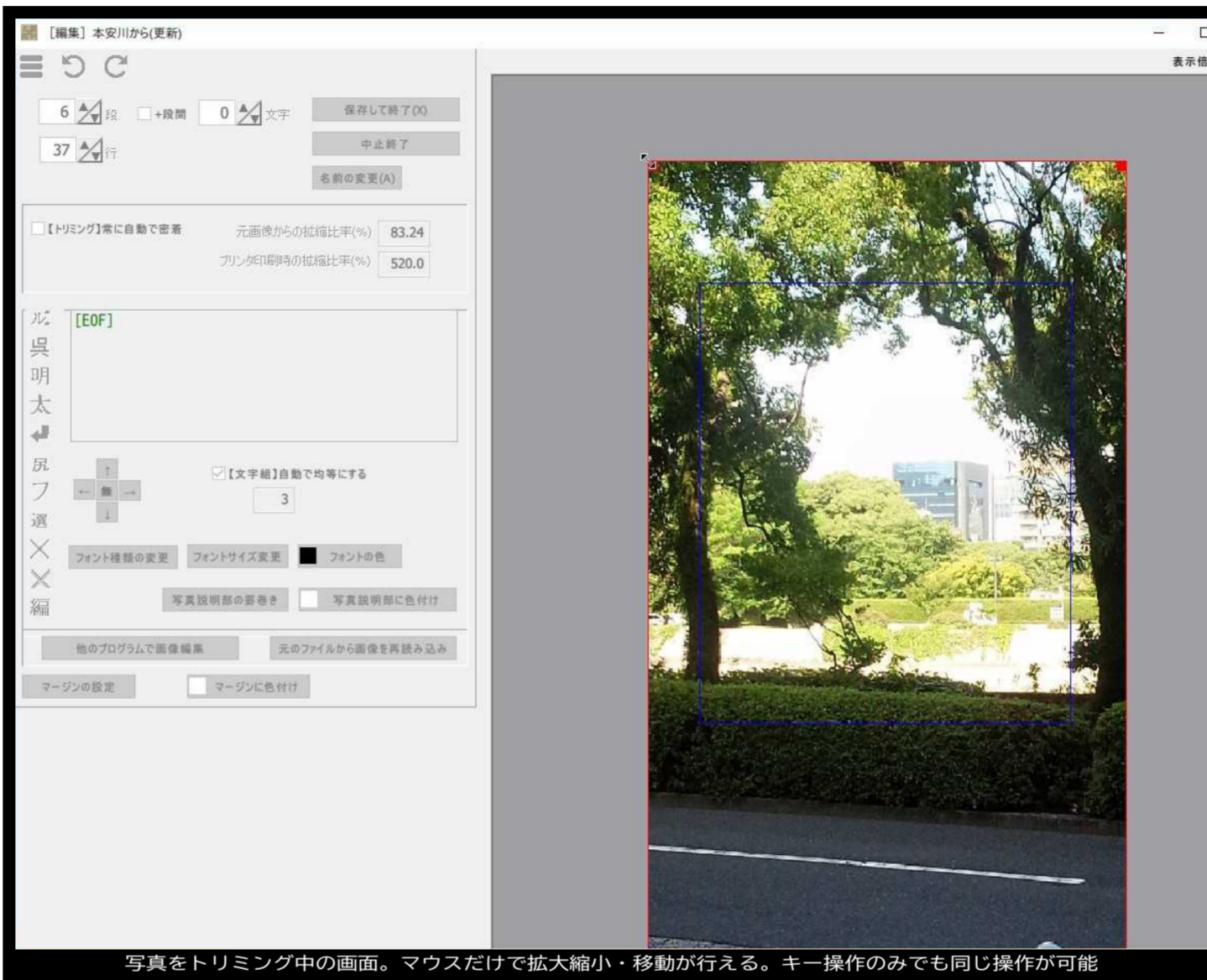
「リンドウ」直進化した。前の操作を取り消す「アンドウ」その「アンドウ」を元に戻す「リンドウ」機能。メインの「アウト」画面は、メインの「アウト」画面を元に戻す。他の主要画面でも実装した。メイン画面の「アンドウ」のみだった旧版から大きく「リンドウ」を繰り返すことができる。

「リンドウ」直進化した。前の操作を取り消す「アンドウ」その「アンドウ」を元に戻す「リンドウ」機能。メインの「アウト」画面は、メインの「アウト」画面を元に戻す。他の主要画面でも実装した。メイン画面の「アンドウ」のみだった旧版から大きく「リンドウ」を繰り返すことができる。

「リンドウ」直進化した。前の操作を取り消す「アンドウ」その「アンドウ」を元に戻す「リンドウ」機能。メインの「アウト」画面は、メインの「アウト」画面を元に戻す。他の主要画面でも実装した。メイン画面の「アンドウ」のみだった旧版から大きく「リンドウ」を繰り返すことができる。

「リンドウ」直進化した。前の操作を取り消す「アンドウ」その「アンドウ」を元に戻す「リンドウ」機能。メインの「アウト」画面は、メインの「アウト」画面を元に戻す。他の主要画面でも実装した。メイン画面の「アンドウ」のみだった旧版から大きく「リンドウ」を繰り返すことができる。

「リンドウ」直進化した。前の操作を取り消す「アンドウ」その「アンドウ」を元に戻す「リンドウ」機能。メインの「アウト」画面は、メインの「アウト」画面を元に戻す。他の主要画面でも実装した。メイン画面の「アンドウ」のみだった旧版から大きく「リンドウ」を繰り返すことができる。



写真をトリミング中の画面。マウスだけで拡大縮小・移動が行える。キー操作のみでも同じ操作が可能

## 文字効果を追加

見出しの各種効果がパワーアップした。地紋や色付けのほか、グラデーション効果が追加された。斜体には任意の角度を付けることも出来る。グラデーション効果は背景にも文字にも付けられる。方向も左右・天地から計4種類。地紋も縦線・横線・斜線・渦といった一般的なパターンを準備。ただし近年の新聞の「地紋離れ」とあまり変わらない。地紋の形状も四角や楕円などをパターンから選べる。

お気に入りのパターンがあれば、名前を付けてテンプレートとして保存しておくことよ。見出し作成画面で簡単に呼び出せる。斜体は、フォントが持つ斜体情報ではなく、ソフトウエア的に変形する。このため、傾きの角度を強・中・弱から選べ、こまかく1度単位で指定もできる。また、文字の縁取りに「重ね率」指定を追加した。縁同士が重なるまで文字を接近させればより迫力ある効果が出る。

グラデーションや任意の斜体

「リンドウ」直進化した。前の操作を取り消す「アンドウ」その「アンドウ」を元に戻す「リンドウ」機能。メインの「アウト」画面は、メインの「アウト」画面を元に戻す。他の主要画面でも実装した。メイン画面の「アンドウ」のみだった旧版から大きく「リンドウ」を繰り返すことができる。

## 配置や移動手軽に

### マウスでもキーでも

「キー」で前後左右に紙面上での素材は従来通りマウスドラッグで移動できる。矢印キーでも移動可能。たとえば紙面上の見出しや下は「Enter」キーと同時に押すことで文字単位で移動する。

「縦横」一気には縮縮しや画像の紙面上での直接縮縮は以前は縦横それぞれ行う必要があったが、一気には縮縮可能になった。たとえば見出しの左下をドラッグして縦は長く横は短くする。マウスドラッグ一回で出来る。

「組版情報の自動解釈」たとえば紙面上の見出しや画像を専用画面で編集したついでに、幅も小さくした場合は、機械的に左側に移動するのではなく、見出しの右側や縦線があれば自動判別して右に移動。写真が紙面の左端にあれば、自動的に右側が小さくなる。このように組版情報を解釈し、修正する。

「1億画素」でも、カメラの高機能化で数百万画素は当たり前。インターネットでは1億画素を超える高解像度画像が公開され、自由に使える時代。そうした大きな画像も重さを感じず、描画やリミシングなどの編集も比較的確こなせる。ただし最初の画像取り込み印刷には時間がかかる。

「キー」で前後左右に紙面上での素材は従来通りマウスドラッグで移動できる。矢印キーでも移動可能。たとえば紙面上の見出しや下は「Enter」キーと同時に押すことで文字単位で移動する。

「縦横」一気には縮縮しや画像の紙面上での直接縮縮は以前は縦横それぞれ行う必要があったが、一気には縮縮可能になった。たとえば見出しの左下をドラッグして縦は長く横は短くする。マウスドラッグ一回で出来る。

「組版情報の自動解釈」たとえば紙面上の見出しや画像を専用画面で編集したついでに、幅も小さくした場合は、機械的に左側に移動するのではなく、見出しの右側や縦線があれば自動判別して右に移動。写真が紙面の左端にあれば、自動的に右側が小さくなる。このように組版情報を解釈し、修正する。

「1億画素」でも、カメラの高機能化で数百万画素は当たり前。インターネットでは1億画素を超える高解像度画像が公開され、自由に使える時代。そうした大きな画像も重さを感じず、描画やリミシングなどの編集も比較的確こなせる。ただし最初の画像取り込み印刷には時間がかかる。

## 抱え置み・置き流し…基本を網羅

記事の見出しを一気に配置する「抱え置み」など、新聞組版の基本機能もパワーアップした。記事・見出し・写真の3種類を一度に配置するなど

「抱え置み」は、複数の文字をまとめて配置する機能。見出しや写真と一緒に配置できる。また、一度に配置する記事や写真の数を指定できる。

「抱え置み」は、複数の文字をまとめて配置する機能。見出しや写真と一緒に配置できる。また、一度に配置する記事や写真の数を指定できる。

## PNGやベクタ画像

画像の対応種類は以前のBMP、JPEGに加え、PNG、GIF画像が加わった。さらにベクタ画像であるEMF、エンハンスドメタファイルが扱えるようになった。ベクタ画像の利点は、拡大・縮小してもほとんど画像の品質が落ちないこと。ロゴや図形、グラフィックなどで使われることが多い。なお、この紙面でも、ソフトのスクリーンショット

## ルビ用途で使い分け

右のように、漢字とルビがきちんと対応。教育目的などではこちらが適しているかもしれない。ただし、場合によっては本文の文字と文字が離れ、やや読みにくくなった。1行当たりの文字数が減り、結果として行数が増えることもある。

## 「禁じ手」色付け警告

「泣き別れ」も避けなくてはならない。つまり、ある段落が段の先頭から始まっている場合、どちらの記事の続きか分からない。流し方だ。これは意図せざるに、記事が紙面に入りきらないうちに「記事あり」のオーバーフローではあるが、行数が赤く表示される。旧版では記事全体が赤くなっていた。このようにあふれていたが、直感的に分かるようになった。

## 抱え置み・置き流し…基本を網羅

記事の見出しを一気に配置する「抱え置み」など、新聞組版の基本機能もパワーアップした。記事・見出し・写真の3種類を一度に配置するなど

## 「禁じ手」色付け警告

「泣き別れ」も避けなくてはならない。つまり、ある段落が段の先頭から始まっている場合、どちらの記事の続きか分からない。流し方だ。これは意図せざるに、記事が紙面に入りきらないうちに「記事あり」のオーバーフローではあるが、行数が赤く表示される。旧版では記事全体が赤くなっていた。このようにあふれていたが、直感的に分かるようになった。

## 紙面素材表示

素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。

## 紙面素材表示

素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。

## 紙面素材表示

素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。

## 紙面素材表示

素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。

## 紙面素材表示

素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。

## 紙面素材表示

素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。

## 紙面素材表示

素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。

## 紙面素材表示

素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。

## 紙面素材表示

素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。

## 紙面素材表示

素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。

## 紙面素材表示

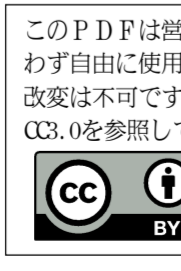
素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。

## 紙面素材表示

素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。

## 紙面素材表示

素材リストは大きく進化。素材のグループ分けにも対応。いちいち素材を個別に呼び出す必要がなくなり、事前に準備した素材をまとめて呼び出すことができる。また、グループ名の変更も手軽に行える。グループ名を省略すると自動的に無名のグループになる。



このPDFは営利非営利問わず自由に使用できます。詳しくはC3.0を参照してください。